

エックス線診療室放射線量測定記録表

測定室名				測定年月日	年 月 日		
測定器	製作者名			製造年月日	年 月 日		
	型式						
	検定（校正）年月日	年 月 日					
	検定（校正）施設名						
ファントムの種類及び大きさ		水・MIXDp・アクリル・その他（ ） 縦（ ）cm×横（ ）cm×高（ ）cm					
照射野		（ ）cm×（ ）・直径（ ）cm・スリット					
照射条件	管電圧（kV）	1)	2)	3)	4)	5)	6)
	管電流（mA）						
	時間（sec）						
	焦点ファントム表面間距離（m）						
	備考						
床上から測定点までの高さ（m）				測定時のレンジ			バックグラウンド B.G.
気温	℃	気圧	hP	湿度	%	天候 晴・曇・雨	
測定者に関する事項	所在地						
	名称 TEL						
	資格名 氏名						
立会者	職名			氏名			

- （注意）
- 線量について放射線測定器を用いて測定することが著しく困難な場合には、計算により算出することができます。
 - バックグラウンド（B.G.）の測定点を表示した図面を添付してください。
 - 各管球ごとに使用予定方向について測定してください。また、この場合添付図面に使用予定照射方向を矢印で記入してください。
 - 透視用の場合には線量率とし、撮影用は線量（曝〈ばく〉射数）としてください。
 - 測定室に放射線の漏えいする恐れのあるすきま等がある場合には、その細部について測定してください。
 - 移動用装置の場合には、エックス線管焦点を中心として、周囲1メートル及び2メートルについて測定してください。
 - 照射条件の番号は、管球番号（定格出力記載項目）と同一のものとしてください。

